

JA新すながわ



第27回通常総代会



JA新すながわ
ホームページQRコード

今月の主な内容

- 第27回通常総代会開催
- 定植・移植作業がスタート
- 農業機械銀行の解散決定
- 第1回地区別懇談会を開催
- 青果物出荷会議を開催
- 年金友の会 春の親睦旅行
- 関西お米屋さん訪問
- J A伝言板
- 入協式（新入採用職員紹介）

Vol.176
令和7年
5月号

発行所：新砂川農協管理部

砂川市東1条南1丁目1番20号 ☎(代表)54-3181

印刷：アド・ワース

ホームページ <https://www.jashinsunagawa.or.jp>



資源保護のため再生紙と大豆インキを使用しております。

第二十七回通常総代会開催

4月4日、砂川市地域交流センターゆうで第27回通常総代会を開き、総代105名が出席しました。

林誠組合長は「地球規模での気候変動や社会情勢の不安定化、更には人口減少や経済状況等起因する食料需給の変動などにより食料事情は厳しさを増しています。昨年度、当組合の農業全般では主力の米が作況指数103のやや良で、集荷量は前年度比約5千俵増の10万6千俵の取扱と、米価の高騰もあり米の販売額は過去最高を記録。施設野菜の主要3品目は前年度比約1億2100万円増の7億6300万円となり、販売額全体で前年度比12億6500万円増の42億8800万円となった。異常気象の中、生産者皆様の力強い生産活動に心から感謝します。」と挨拶しました。

議長には砂川地区近藤親吾氏、奈井江地区堀隆史氏が選ばれ、令和6年度の事業報告、7年度の事業計画、地域農業振興計画・第9次中期経営計画など6議案と報告事項2件が承認されました。

7年度は第9次中期経営計画の初年度となります。変化する環境の中、地域に期待されるJAの組織基盤強化を進め、農畜産物取扱高41億7000万円を計画します。



開会挨拶をする 林 誠 組合長



議長を務めた近藤親吾氏⑤と堀隆史氏⑥



採決の様子



来賓挨拶 JA北海道中央会 会長 樽井 功氏



受付の様子

組合長挨拶



代表理事組合長

林

誠

新砂川農業協同組合「第27回通常総代会」開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。本日は、総代の皆様におかれましては、本格的な農繁のシーズンを前にしての大変お忙しい中、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

さて昨今では、地球規模での気候変動や国際情勢の不安定化、日本国内では人口減少や経済状況等起因する食料需給の変動などにより、食料事情は厳しさを増していると感じます。

世界の情勢では今でも続くロシア・ウクライナ侵攻、貿易を制限することで世界的に資源不足となり物価上

昇などが発生しています。石油や天然ガスが手に入りづらくなっており肥料原料も中国の輸出制限が依然として続く中ではあります。

このように、混乱した世界情勢の中で、資源を輸入に頼っている日本にとっては、大きな痛手であります。

燃料の高騰、それに伴う輸送運賃、電気やガス料金、肥料や飼料の値上げが続く企業努力では対応しきれず、食料品を始めとする多くの商品の値上げが続いています。

そのような中で、当地区の農業におきましては、経費を抑えながら、例年通り営農を続けたところです。

春先の気温が高く融雪が進み、春作業も順調に進み、年並みの播種作業が行われていきました。5月下旬頃低温が続きました。6月から気温も上がり順調に生育されていきました。7月から8月にかけては降水量も少なく干ばつ気味でありました。一昨年と同様に暑い日がありましたが、朝晩の寒暖の差もあり生育も平年並みかやや早く進んでまいりました。大きな災害もなく基幹作物のお米につきましては、8月末からの稲刈り作業が始まりました。

多くの単価高であり品質も良いものが多い年となりました。青果物主要3品目の取扱高の合計は7億6千3百万円となりました。計画対比111%、前年対比117%となりました。

このように、生産者の皆様が努力を重ねながら、力強い生産活動に心から敬意と感謝を申し上げます。

そして、気候変動や大変厳しい社会情勢の中で、農業者皆さんの努力により、当組合の販売事業の総取扱高は、42億8千8万円となり、計画対比140.3%、前年対比141.8%の取扱高となりました。農協が合併されてから過去最高の取扱高となりました。

こうした結果、令和6年度の農協の決算は、事業利益で8千8百万円、税引き前当期純利益では1億1千5百万円と計画および前年を上回る結果とすることができました。加えて当期末処分剰余金は、1億8千6

百万円という結果になり、これも組合員の皆様の農協事業に対するご理解とご協力の賜物と熱くお礼を申し上げます。

そして令和7年度の計画につきましては、地域農業振興計画・第9次中期計画を作成いたしました。また、第31回JA北海道大会では「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」「JAの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」「農業・食・JAへの理解醸成 AGURIAC TION」が決議されました。

地域農業振興計画「日本1の産地を目指して」「持続可能な力強い農業の実現」「地域に根ざし選ばれるJAへの基本方針に向けて取り組んでまいります。どうかご理解の上、ご協力のほどよろしく願います。

定植・移植作業がスタート

今年は積雪が少なく雪解けも順調に進み、各品目とも例年通り定植・移植作業が始まりました。

生産者の皆さんは、生産コスト増の厳しいなか安定的な収量確保を期待して丁寧な作業を行っていました。

販売部の佐野農産課長は「去年は、高温の時期もありましたが、高単価で推移した作物が多かった。6月には共同選果が始まるので市場関係団体と連携して有利販売に努めたい」と話し、販売額の伸長を目指します。



ヒマワリ
3月5日 播種
5月上旬出荷予定
1.2ha 取扱高 3740万円を計画



ミニトマト

4月17日 定植
6月中旬出荷予定
8.8ha 取扱高 3億6000万円を計画



メロン

3月12日 定植
6月上旬出荷予定
1.7ha 取扱高 2500万円を計画



トマト

4月18日 定植
6月中旬出荷予定
5.5ha 取扱高 1億5300万円を計画



タマネギ

4月11日 移植
7月下旬出荷予定
92ha 取扱高 3億2500万円を計画



キュウリ

4月23日 定植
5月下旬出荷予定
4.2ha 取扱高 2億円を計画



「中空知農民協と東野ひでき氏 懇談会」を開催

3月27日、奈井江支所大会議室にて『中空知農民組織連絡協議会と東野ひでき氏の懇談会』が開催されました。JAたきかわ・JAピンネ・JA新すながわの農民協の役員22名が参加しました。

最初、東野ひでき氏から「風連町で農業を引継ぎ農業一本で食べていけるよう努力してきた。現場の実情は皆さんと同じく理解しているつもりです。」また「今までの経験と皆様のご意見を拝聴し、現場の声と想いを国政へ伝え農業がより良く変わるため全力を尽くします。」と決意を述べました。

中空知農民協の参加者からは「農家の現場の声をストレートに国政へ伝えてほしい。」「米価ひとつとってもマスコミの偏った報道に消費者が混乱しないよう正しい情報が伝わるようにしてほしい。」「当選後も空知の農家と懇談の場を作してほしい。」など多数の声が上がりました。



東野ひでき氏と懇談した奈井江町農民協役員

令和6年度 中空知農民組織連絡協議会 総会を開催



開会の挨拶をする大西暁陽会長

3月31日、砂川パークホテルにて「令和6年度 中空知農民組織連絡協議会」総会が開催されました。総会には来賓も含めJAたきかわ・JAピンネ・JA新すながわの5単組の農民協役員・事務局を含め34名が出席しました。

当番単組である奈井江町の大西暁陽会長より「食料・農業・農村基本法の改正、水田政策の見直しなど大きな転換期を迎え、今後も各単組結集のもと力強く運動していく。」と宣言いたしました。

総会では、令和6年度の経過報告、収支決算報告、負担金徴収金額の変更、役員の改選の4議案が可決されました。

新砂川農協農業機械銀行の解散決定

令和7年3月25日（火）開催の農業機械銀行役員会において、新砂川農協農業機械銀行の解散を決定しました。

農業機械銀行は、昭和53年度の転作促進対策特別事業補助金により農業機械等を取得し、昭和55年度に砂川市農協農業機械銀行として発足しました。発足当時から、現在と同様に農作業料金の決定と受委託作業の精算事務、農業機械の貸付を行っていました。しかしながら近年は、農業機械の貸付利用率低下もあり、令和6年度に所有していた農業機械の処分をし、農業機械貸付業務を終了しました。

今後につきましては、営農部・営農資材センターにて農作業受委託の調整と作業料金の精算事務等を行い、農作業料金の設定・改定については、令和7年度中に検討を行い、新たな枠組みを設立いたします。



水稲播種作業順調（新入職員 播種作業を農業実習）

4月11日より令和7年産米の播種作業がJA新すながわ管内で開始となりました。

播種作業は、機械によるライン作業で行われており、カラの育苗箱を入口から流し入れると機械が床土・播種・覆土作業まで終わらせて出てきます。

4月21日～23日、4月新採用職員3名が、JA役員のお世話になり育苗箱に入る培土の補充、育苗箱の設置や整理など水稲播種作業における農業実習を実施し、大変貴重な機会となりました。

水稲播種作業は20日過ぎが最盛となり、育苗ハウスで5月の水田への移植まで大事に苗は育てられます。



育苗箱を整理する金融共済部 内田職員

水稲種子温湯消毒作業終了



水稲種子温湯消毒作業の様子（10日）

4月5日から奈井江町のJA施設で水稲種子温湯消毒を行いました。約100戸の生産者が使用する「ゆめぴりか」「ななつぼし」など8品種約33.5トンの種子を消毒。

作業はJA職員が最大3交代で行い、種子を5キ로그램ごとに小分けし消毒機にセット。自動で60℃の湯に10分、6℃の水に4分浸した後に脱水します。消毒した種子は当日の午後から生産者へ渡すため、ピークの11日頃は5ト程度消毒し早朝からの作業になりました。

作業のピークは11日頃で、4月28日まで続けました。

第一回地区別懇談会を開催

第1回地区別懇談会を3月11日～14日までの4日間、砂川・奈井江地区を10ヵ所の会場にて開催し82人の出席がありました。

冒頭、林組合長から令和6年度の農畜産物の概況・農業情勢を述べ、その後羽田管理部長から令和6年度の事業報告・決算概況や令和7年度の事業計画を説明し、今年は3ヵ年計画の初年度にあたるため地域農業振興計画・第9次中期経営計画の説明も行いました。

懇談会では、6年産米の価格動向についてや集荷率、ライスターミナルへの出荷や利用料についてなど、米の関係の質問が数多くされました。



瑞穂地区の様子



農業情勢や概況を説明する林組合長

令和7年産 青果物出荷計画会議を開催～札幌みらい中央青果㈱にて

3月6日販売部農産課は、本年度の青果物出荷計画会議のため各生産団体長とともに札幌みらい中央青果㈱へ訪問いたしました。

最初、みらい青果の現況について説明があり「野菜・果実ともに高値で推移している。全国的に高齢化、労働力不足による作付面積減。また太平洋側の雨量減による水不足があり生育の悪い状況が続いている。この状況は3月いっぱいぐらいまでは続くの見込んでいる。」と説明がありました。また「近年10月から11月の道内産から道外産への産地切り換えがなかなか繋がらないこともあり、道内産地へは出荷時期を後ろに伸ばし、遅らせて欲しいと要望がありました。」

当産地としても近年、生産者の経費高騰が厳しい状況等を説明したところ、みらい青果は「物価高により消費者側の意識も変わりつつあり、従来の価格帯より高くても購入してくれている。生産者を減らさないため生産者手取りが残るよう販売していきたい。」と話し、今後は当産地として各品目担当者と密に連携を取りながら、有利販売に努めていきたい思います。



札幌みらい中央青果㈱～会議室にて

レポサク（スマート農業）の講習会を実施～新砂川農協青年部

3月27日、JA青年部は奈井江支所大会議室にて、㈱エゾウイン 堤 幸太エリアマネージャーを講師に招き、レポサク（スマート農業）の講習会を実施いたしました。この講習会には、青年部員を中心に11名参加いたしました。



レポサク講習会を受講する青年部員の様子

今回、レポサク講習会にあたり2024年5月より導入している笹木農場 笹木 駿さん（奈井江町白山地区）は、「圃場が広くなり適期作業を行うのに把握するのが大変になった。レポサクを使用すれば、スマホを見ればすぐにわかるし肥料・農薬計算が楽になったのが1番よかった。」と話します。

この講習会では、レポサクの使用方法、利用することで何ができるようになるかなどを細かく説明を受け、水稻を作付している青年部員からは、大変便利だとの意見が多数。施設園芸の「ハウス栽培にはどのように使用すればいいのか？」など、たくさんの質問の声もあがりました。

フレッシュミズ栽培講習会を実施～新砂川農協女性部

2月28日、JA女性部は奈井江支所役員会議室にて「空知農業改良普及センター中空知支所」より（花き・水稻・園芸）担当講師として3名招き、フレッシュミズ栽培講習会を実施し4名参加しました。この栽培講習会に向けて、事前に作付け品種で疑問に思っている点などを聞き取りをした結果、「花きの栽培管理・水稻の紋枯病の見分け方・高温傾向の常態化を視野に入れた病虫害や障害について」をそれぞれ担当講師に説明いただきました。

限られた時間の中での講習でしたが、フレッシュミズの皆さんは熱心に話を聞き、講習後はそれぞれの担当講師へ直接質問し細かなアドバイスを受けました。



担当講師より説明を受けるフレッシュミズの様子

年金友の会 春の親睦旅行開催 ～ 網走流氷砕水船「おーろら」

新すながわ農協年金友の会は3月4日から5日の2日間、網走方面へ1泊2日の親睦旅行を企画し、42名が参加しました。

初日は、北見名物塩焼きそばを食べ、午後から今回の旅行のメインである流氷観光砕水船「おーろら」に乗船しました。タイミング良く流氷が着岸しており、氷を押し割りながら進む様子を堪能することができました。宿は網走湖荘に宿泊し、夕食の宴会では、くじ引きなどを実施し会員同士楽しい時間を過ごされておりました。

2日目は、網走監獄を見学し、ところ道の市で海鮮などのお土産を買い、無事帰路につきました。2日間、思い出深い大盛況の旅行となりました。



流氷が着岸している様子



「おーろら」に乗船し流氷を確認する会員達

RT自主検装置視察・関西のお米屋さん訪問【大阪・兵庫・滋賀】

3月23日～26日の4日間、室井販売部長と米穀畜産課斉藤調査役は、今年になりRTに新しく納品された自主検装置の視察と関西（大阪・兵庫）のお米屋さんへ現状確認と産地PRにて訪問しました。

24日の初日、大阪第一食糧の仕入担当課長より関西地区でのお米の販売状況を確認したところ在庫がひっばくし今ある在庫を少しずつ販売する状況が続いているとお聞きしました。お米屋さん訪問では最初に兵庫県の「いづよね」さんへ訪問。その後、大阪へ移動し「上六米穀店」、「お米のみなもと」さんへ訪問しました。どの店舗共通して6年産米は販売価格が高騰しているため商品確保が難しい状況が続いている。その中でもJA新すながわの「ゆめぴりか」は大変美味しくお店には欠かせない商品と話されておりました。現状、全く新規のお客様には販売をお断りしている店舗もある状況でした。

25日には、滋賀県にある近江度量衡へ訪問し、RTに今秋より始動する自主検装置の打合せと試験運転の様子を確認してまいりました。

26日には、関西地区のスーパーマーケット（イオン・平和堂・玉出他）を市場調査で視察し、お米がどの店舗もかなり品薄状態でアメリカ産カルローズ米を販売している店舗もありました。

これからも「ゆめぴりかの里」として消費者に選ばれる産地を目指し取り組んでまいります。



RTに納品される自主検装置



いづよねさん(兵庫)



上六米穀店(大阪)



お米のみなもと(大阪)



関西スーパーに陳列された
アメリカ産カルローズ米

最終回「JAグループの代表議員がなぜ必要なのか」について

JAグループの声を!

JAグループの農政運動の目的は、「農政(農業・農村・農協政策)」にJAグループの声を反映させて、生産現場の課題解決を図ることです。そのため、農政を決定する政府・与党の中に、農業・地域・JAグループへの理解者を増やすことが農政活動の強化につながります。

組織力の結集を!

JAグループの様々な事業に対し措置されてきた予算・税制等の政策支援は、これまでの農政運動を通じて確保してきたものです。これらの政策支援を維持・発展させるためには、JAグループが団結して農政運動を行うことが必要です。組合員や役職員一人一人の力は小さいですが、組織としてまとまることで“力”となります。

農政活動の強化に向けて!

国民への食料の安定供給、環境との調和、組合員の所得増大、農業・農村の持続的発展等に向けた生産現場の課題解決のために、今こそ我々JAグループの組織力の発揮が必要なのです。



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、全8回連載いたしました。

働きかけと支援を!

農業の実情を知る議員がいることによって、政府・与党内に農業現場の実情を伝えることが可能となります。そのため、JAグループの声を代弁し、政府・与党に積極的な働きかけを行う議員に対して、組織でまとめ、活動を支え、連携することが、政策実現のカギとなります。

我々の代表を!

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要です。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。

東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会

資材課から土曜日・日曜日・祝日の営業のお知らせ

◎奈井江資材店舗 (TEL: 65-2218・FAX: 65-2803)

6月末まで: 無休で営業いたします。

7月~9月: 土曜日のみの営業となります。

◎砂川資材店舗は土日・祝祭日はお休みです。

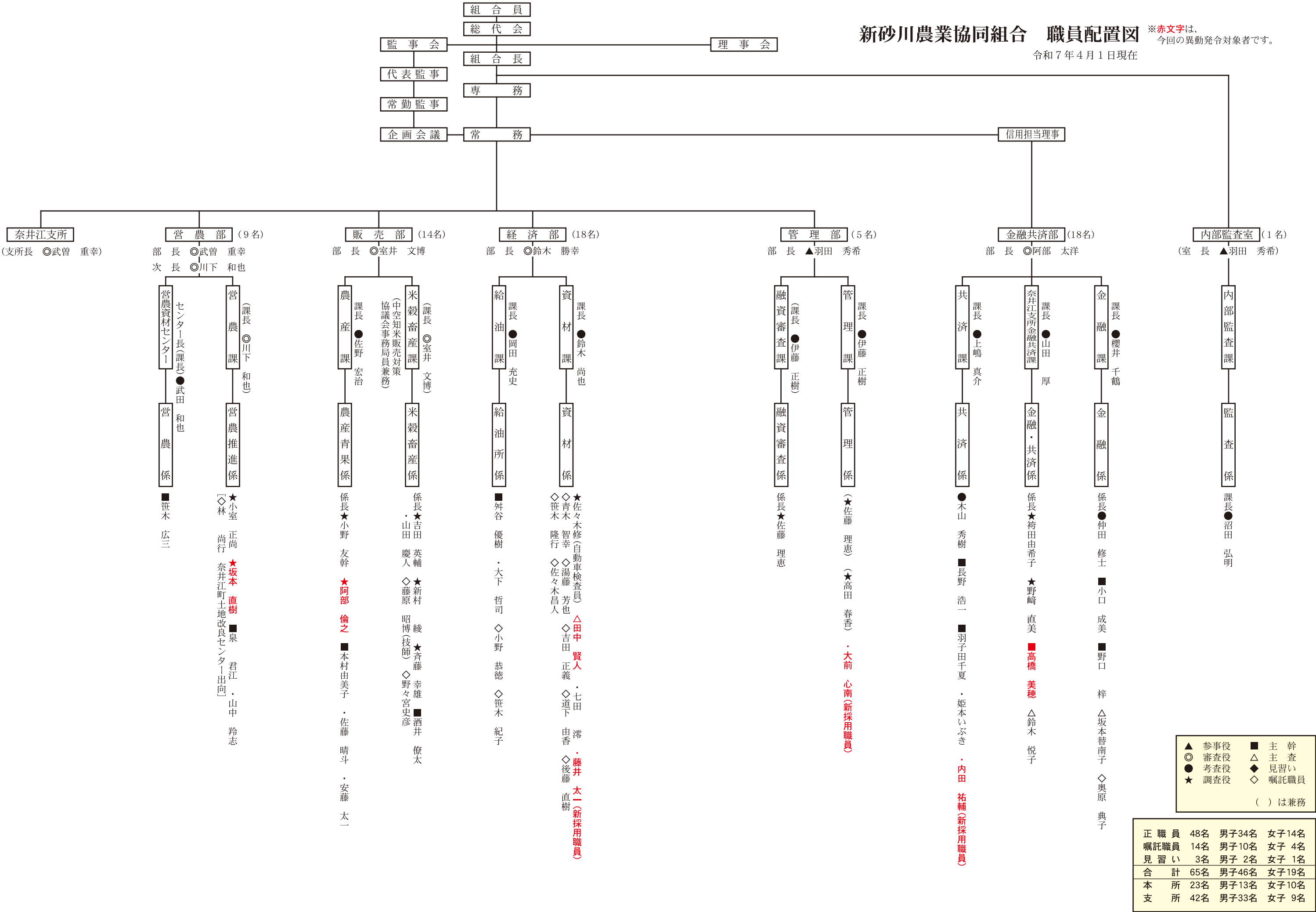
配達の体制を整備いたしましたので、お気軽にご連絡ください。

休業日の連絡先: 65-2218

新砂川農業協同組合 職員配置図

※赤文字は、
今回の異動発令対象者です。

令和7年4月1日現在





理事会審議報告

第2回理事会（3月5日開催）
の顛末をお知らせします。

◎報告事項

- 一、組合長会議報告
 - 二、農業委員会報告
 - ①砂川市農業委員会
 - 三、各委員会報告
 - ①管理・金融共済委員会
 - ②経済委員会
 - ③営農・販売委員会
 - 四、令和六年度決算に係る監事監査報告について
 - 五、「JAバンクの内部管理態勢構築にかかる指針」の変更について
 - 六、その他
- ◎付議事項
議案第一号 令和七年度役員報酬審議会の答申について
議案第二号 令和七年度余裕金の預入先金融機関（系統外）、並びに運用基準の決定について

て

- 議案第三号 信用の供与等の高限度額の設定について
議案第四号 理事に対する貯金担保貸付及び共済担保貸付の事前承認について
議案第五号 貸付金利率の最高限度の設定について
議案第六号 令和七年度の利率・料率の設定について（金融）
議案第七号 令和七年度の利率・料率の設定について（販売）
議案第八号 令和七年度 賦課金の賦課及び徴収の方法について
議案第九号 令和七年度事業計画の設定について
議案第十号 中期計画及び地域農業振興計画の設定について
- 第3回理事会（3月21日開催）
の顛末をお知らせします。
- ◎報告事項
一、各委員会報告
①農家経営改善委員会
二、内部監査報告について
三、令和六年度コンプライアンス・プログラムの進捗状況について
四、組合員の異動について
五、行事予定について
六、その他
- ◎付議事項
議案第一号 みのり監査法人（期末監査）の監査報告書について

- 議案第二号 令和六年度決算書類、注記表、附属明細書及び部門別損益計算書の承認について
議案第三号 第二十七回通常総代会の招集について
議案第四号 規程類の一部変更について
議案第五号 信用事業方法書の一部改正について
議案第六号 役員賠償責任保険の料率の設定について（金融）
議案第七号 固定資産の取得に係る施行管理業者の決定について
議案第八号 職員の定期昇給について
議案第九号 令和七年度個別信用限度額の設定について
議案第十号 信用評定について
- 第4回理事会（4月10日開催）
の顛末をお知らせします。
- ◎報告事項
一、組合長会議報告
二、農業委員会報告
①砂川市農業委員会
②奈井江町農業委員会
三、各委員会報告
①農家経営改善委員会
四、三月末財務報告について
五、内部監査報告について
六、農業機械銀行の解散について
七、組合員の異動について
八、行事予定について
九、その他

◎付議事項

- 議案第一号 役員報酬の配分について
議案第二号 令和八年度職員の新規採用計画について
議案第三号 行政庁への業務報告書の提出について
議案第四号 令和七年度第一回地区別懇談会の意見要望について
議案第五号 固定資産の取得について
①本所事務所屋根・壁改修工事
②管理部門車の購入（トヨタ ヴォクシー）三三八五千円
議案第六号 指名競争入札に係る指名業者の選定について
議案第七号 信用評定について

組合員の動き

- ◎今回加入 正組合員 三名
准組合員 五名
◎今回脱退 正組合員 四名
准組合員 一七名
◎合計 正組合員 五一五名
准組合員 二、四一六名

職員の動向

- 辞令（4月1日付）
営農部営農課営農推進係調査役 坂本 直樹（営農部営農課営農推進係主幹）

販売部農産課農産青果係調査役 阿部 倫之（販売部農産課農産青果係主幹）

営農部営農課営農推進係主幹 泉 君江（営農部営農課営農推進係調査役）

金融共済部奈井江支所金融共済課金融共済係主幹 高橋 美穂（金融共済部奈井江支所金融共済課金融共済係主査）

経済部資材課資材係主査 田中 賢人（経済部資材課資材係中級職）

販売部米穀畜産課米穀畜産係中級職 山田 慶人（販売部米穀畜産課米穀畜産係初級職）



新採用職員入協式

4月1日、本所にて令和7年度新採用職員入協式が行われました。

式では、林組合長より「JAは一般的な会社と違い農家を中心となつた組織。新人という強みを活かして、解らないことは積極的に先輩に質問し吸収してほしい。また、自分の可能性を信じて、地域農業のために貢献できるよう頑張ってください。」と激励し、辞令を交付しました。

新採用職員紹介



金融共済部共済課
共済係見習い
うちだ ゆたか
・34歳
内田 祐輔
・34歳
滝川市出身



管理部管理課
管理係見習い
おおまえ みな
・19歳
大前 心南
・19歳
奈井江町出身



経済部資材課
資材係見習い
ふじい たいち
・18歳
藤井 太一
・18歳
新十津川町出身

抱負
組合員の皆様や地域の皆様に信頼されるよう、丁寧な仕事を心がけたいと思います。少しでも早く仕事を覚え、皆様のお役に立てるよう頑張ります。

抱負
私は地域の皆様に貢献できるように仕事をしたいと考えています。一生懸命勤めたいと思います。



林組合長によるJA事業概況説明の様子

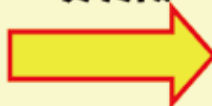
奈井江支所金融共済 窓口昼休業のお知らせ

日頃より、JAの事業に対しまして特段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。このたびJAでは奈井江支所の営業体制を見直すことといたします。組合員・利用者の皆さまには、ご不便をおかけしないよう努めてまいりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

①奈井江支所のお昼の窓口業務を**休止**させていただきます。

現行営業時間
9:00 ~ 16:30

変更後



9:00 ~ 11:30
11:30 ~ 12:30
(窓口昼休業)
12:30 ~ 16:30

②令和7年5月1日(木)より

③ATMのご利用、共済事故の受付は窓口昼休業時間帯でも通常通りご対応させていただきます。
本所窓口につきましては通常営業しております。



©よりぞう

JA新すながわ

新砂川農業協同組合
代表理事組合長 林 誠

申込期間 2025年4月28日(月)～6月30日(月)

家計応援

キャンペーン2025

組合員・准組合員の方限定!
(新規組合員加入も対象となります。
出資金 1,000 円から加入できます)

受入限度額:新規純増10億円
(目標に達した時点で終了とさせていただきます)

新規お預入れの

**大口定期貯金または
スーパー定期貯金 1年**

さらに
店頭金利 **+0.02%**

**500万円1口で
お米プレゼント**

JA新すながわ産

ななつぼし 5kg

(例) 800万円⇒5kgを 1 袋
1,500万円⇒5kgを 3 袋



20万円～500万円未満は

店頭金利

0.275%
(4月1日現在)

+0.02%

対象商品 大口定期またはスーパー定期(自動継続)

預入期間 1年

預入条件 新規でお預入れのみ(現金または口座より出金)とさせていただきます。書換は対象外となります。
3か月以内に定期貯金を解約した金額は対象外です。

期日前解約 満期日前に中途解約される場合はお米代金の料金を徴収させていただきます場合がございます。

●満期日(自動継続日)以降は店頭金利の適用となります

●満期日前に中途解約される場合は、JAが定める中途解約利率を適用させていただきます

●金利情勢により期間中であっても、金利を変更する場合があります

JA 新すながわ

本 所 ☎0125-54-3181

奈井江支所 ☎0125-65-2211